

NPO法人

# ひょうたん島



## 『思いを託して・・・』

代表理事 樋代 景子

「どんな障がいがあっても（医療的ケアがあっても）親亡きあとも住み慣れた地域で、自分らしく生活ができるような場所を作りたい。」という思いで、2004年に5名の保護者で、子どもたちの活動場所作り、保護者の休養や仕事の保証、将来親亡き後の生活の場（グループホーム）を作ること、を目標に動き始めて早18年、（一時期NPO法人国分寺市手をつなぐ親の会の中で活動）、8年前にNPO法人を立ち上げて、活動を続けてきました。

余暇活動（音楽療法他）は、以前からお世話になっている先生方と継続ができ、毎月行っていたイベントも、お世話になっていた講師の皆さんのご協力と、新しい講師も加わり継続することができました。新たに居宅介護支援事業所すいへいせんによるヘルパー派遣を始めました。また、借りられた物件がレストランをやっていたことからその設備を活かし、Café やしの樹も始めました（素人にはなかなか難しく細々と）。ワンコイン講座や地元の老人会のサロン等にも利用して貰えるようになってきましたが、ここ2年間はコロナ禍のため、目標だった「外に出ていくこと」がなかなかできない上、活動の人数制限、イベントの制限、Café は問題が起きていけないと閉める等、思う様な活動はできませんでした。しかし、活動の拠点にできる場所があることで、制限があっても子どもたちは笑顔で過ごしてこられました。

子どもたちの障がいの程度がみんな違うため、保護者の思いも様々、支援して下さる皆様の思いも様々で、まとまらないことも多く葛藤の中で動いてきました。施設見学や研修への参加等で、私なりに考えて目標とした医療的ケアのできるグループホームについては、保護者の思いが違い進みませんでした。令和3年度からグループホーム設立準備委員会を立ち上げ、少し先が見えてきたように感じています。

令和4年度からは、グループホーム準備委員会で動いている理事の宮鍋陽子氏（国分寺市内で長年にわたり障がい者の方の支援をしている）に代表を代わり、ひょうたん島も益々進んでいかれると思います。

今まで大変お世話になりありがとうございました。今後ともひょうたん島を、末永く、どうぞよろしくお願い致します。

現在すいへいせんは、未就学児から高齢の障がい者まで、幅広く支援に入っています。また、市内に限らず近隣市からのニーズにも応えています。

ここ数年コロナの影響により、積極的に外出、外食を楽しんでいた方々も、入所施設から出られなくなってしまうなど、地域の方々と触れ合う機会が減ってしまい、とても淋しく感じています。



すいへいせんでは重度障がいのある方の支援に力を入れています。特に医療的ケアが必要な方（たんの吸引や経管栄養など）に対しても、看護師の指導のもとヘルパーへの実技研修を行い、地域で安心して生活できることを目指しています。

支援の上で欠かせないのがヘルパーさんの存在です。今までは教育や福祉を学ぶ大学生さんが自らの学びの場として活躍してくださっていましたが、コロナの影響もあり、次につながる学生さんが入ってこないという状況に悩んでいます。

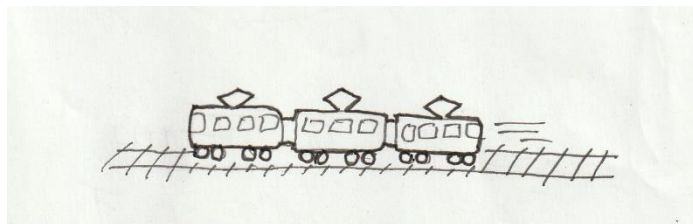
若い力が不足している一方、ここ最近は移動支援連絡会主催のヘルパー養成講座を通して、お仕事をリタイヤされた方々が障がい者の支援に関心を持ち、支援に入ってくださっています。

食事やトイレ介助、車いす移動など、初めて経験することばかりで、皆さん最初は戸惑われていましたが、利用者さんから学ぶことも多く、数か月過ぎるとすっかり利用者さんと打ち解けて笑顔で一緒に過ごされています。そんな様子に地域の方々の支援の有難さを感じつつ、この輪がもっと広がることを願っています。



## ヘルパーさんから

『古希の新人ヘルパー』 西山 節夫



ヘルパーになってはや一年余。ヘルパー業務の苦勞、又、それを優に上回るやりがい、などなどいろいろあります。今回は一つだけ今の私の気持ちを書きます。それは一言でいうと感謝です。つまらぬオヤジギャグに付き合ってくれる先輩ヘルパーの諸姉諸兄、ミスして落ち込んで『ミスは誰でもします。気にしない気にしない』と優しく励ましてくれるスタッフの面々、そして何よりぎこちない私の支援に明るく、時に笑顔で応えてくれる利用者の方々。皆様に心から感謝！感謝！感謝！です。

『アットホームなひょうたん島』 今澤 優子



ひょうたん島の皆さんに初めてお会いした時は どんなお話をすれば良いかどう接すれば良いのかわからず緊張の連続でした。支援で一緒に過ごす時間が増えると、利用者さんの笑顔も多くなり利用者さんも私と同じように緊張されていたんだと改めて思いました。皆さんの笑顔に癒されながら気付くとあっという間の10年でした。

ひとりひとりを大切にしてみんなで楽しくゆったりした時間を過ごせるアットホームなひょうたん島。これからもみんな笑顔で進めひょうたん島！

## 利用者さんから

『大好きすぎて』 吉澤 晶子



息子は小平特別支援学校の中学1年生。音楽好きで、ひょうたん島ではヘルパーさんと歌や様々な楽器を楽しんでいるようです。幅広い世代のヘルパーさん達のおかげもあり、昭和から令和までたくさんの歌も覚えました！就学前からお世話になっているひょうたん島はすっかり第2のホーム。温かく優しい方々に囲まれて過ごす時間は息子にとって至福の時なんだと思います。大好きすぎて毎日毎日『ひょうたんじま、いつ？』『きょうがいいー！』と駄々をこねられます。そんな素敵なひょうたん島に心から感謝しています！

## グループホーム設立をめざして

宮鍋 陽子

ひょうたん島では、重度の障がいや医療的ケアが必要でも、住み慣れた地域で自分らしい生活ができるようにとグループホーム（GH）設立をめざして、2019年からGH学会に参加したりGHを見学して、設備・運営・支援などについて学びを深めてきました。

コロナ禍のため一時中断していましたが、令和3年度は、GH設立準備委員会をスタートさせ、見学やリサーチの他、国分寺市内でのニーズを探るべくアンケートを実施し、利用希望の方には具体的な聞き取りも行いました。

アンケートでは、重心の方・医療的ケアの必要な方およびご家族の方々から、GHにすぐにも入りたい、いずれは入りたい、今は考えていないが将来のために知りたい、障がいの特性から入所を考えているなど、いろいろな思いをいただきました。

障がいの重い方や医療的ケアの必要な方はGHに入れないとあきらめている方も多く、安心安全に暮らせる設備や職員の専門的なスキルはもちろん、看護師配置や医療との連携など医療面での安心の確保も重要な要素です。

自宅では特に母親が全面的に介護や支援を担っており、母親に何かあれば地域での暮らしが継続できないケースが多く、地域で暮らすには選択できるGHが増えるだけでなく、様々な支援体制も必要と感じました。

聞き取り調査から、入所施設利用者は、コロナ禍の中で外出はおろか面会も制限され、豊かな社会生活や社会経験の積み重ねや地域交流の機会などが全くないため、地域で暮らせたらと希望があります。GHを利用している方は、障がいや重度化したり医ケアが必要となった場合も継続して住み続けられるのかという不安があります。

重心の方・医療的ケアの必要な方にとって、現在の制度ではGHのスタッフ配置が不十分なのでGHに重度訪問介護の導入は可能か、そもそもひょうたん島でGH運営は可能か、他法人との共同の可能性はあるか、今できることは何か、将来を見据えて計画的に何をするかなど、どのような障がいがあっても地域で暮らしたい、暮らしやすくしたいという思いを実現すべく、令和4年度は具体的な行動に移せるよう準備中です。



## おんぷのまほう

堀口 真実

毎週水曜日、幅広い年齢層で余暇活動を行っています。

音楽療法では歌ったり楽器を鳴らしたりします。

楽器はピアノやシンバル、ツリーチャイムなど多種多様なものを揃えています。

からだごとことばのプログラムでは、年賀状を書いたり、四季の作品を作ったり、あいうえおの体操をしたりします。利用者さんもヘルパーさんも先生も、みんな全力で楽しんでいます♪



## ワンコイン講座

南百瀬 千代

ワンコイン=500円で楽しい集まりを。。。生活をチョット豊かにする習い事を。。。

ひょうたん島に繋がりのある方、地域の方で。

### 折紙講座

バラの花・クリスマス飾り・お雛様・お魚・お相撲さん・☆・。難しい物から易しいものまで、丁寧に教えてもらっています。



### アンサンブルを 楽しもう

ピアニストの講師の指導のもと、それぞれが好きな楽器でクラシックの名曲からロックまで、演奏を楽しんでいます。大正琴・シロフォン・チェロ・バイオリン・キーボードなどなど。

### ステンシル講座

切り抜いた型に絵の具で描きます。ナプキン・袋物・シャツ、等々。素敵な作品が出来上がっています。ベテランの講師が教えてます。



この他「障がい者の身体のケアの取り組み講座」。コロナ禍でお休みしていますが、「お菓子作り講座」、「マッサージ講座」もあります。参加募ってます  
令和3年度ここねっとの推進助成事業として活動費の助成をうけています。



## ホームページ インスタグラム

勇 麻子

ひょうたん島のみなさんの様子を、たくさんの方に知っていただけるよう  
インスタグラムやブログで発信しています。

インターネットで簡単に誰とでも繋がれることは、もちろん怖さもあります。  
けれど、活動の内容、そしてなによりメンバーのみなさんが、地域の枠を越えて、  
もっと広い世界へ飛び出していけるツールでもあると思っています。

大好きなひょうたん島のお力になれること、とても嬉しいです。

## ご協力ありがとうございました

(令和3年4月～令和4年3月)

寄付金	久世 智子様	駒井 夏美様	
	作間 郁子様	佐藤 麻子様	中通 麻以子様
	沼舘 協子様	笠 誠太郎様	匿名 3名様

賛助会費	小寺 敦子様	佐々木 路子様	(株)創カンパニー様
			(50音順)



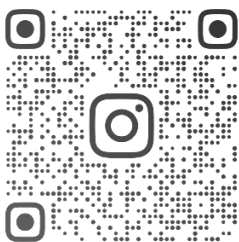
発行 2022.4.1  
 特定非営利活動法人ひょうたん島  
 代表理事 樋代 景子

〒185-0011 東京都国分寺市本多 4-15-8

TEL・FAX 042-359-4640

HP: <http://www.hyoutanjima-kokubunji.org>

Instagram



ホームページ

